

# 応用統計学会 1988 年度年会プログラム

日 時 1988 年 4 月 23 日 (土) 9 : 30 ~ 17 : 00

場 所 統計数理研究所 (東京)

開会の挨拶

## 研究発表会 (9 : 30 ~ 16 : 30)

### 一般講演 I (9 : 30 ~ 11 : 10) 座長 田栗 正章

- 1) 河本 綏雄, 野澤 昌弘 (東京理科大・工)

回帰分析における影響力のある観測値の検出

- 2) 田中 豊 (岡山大), 尾高 好政 (岡山理大)

因子分析における感度分析 —— 主因子分析の場合 ——

- 3) 藤井 良宜, 柳川 堯 (九大・理), 藤田 利治 (国立公衆衛生院)

いくつかの  $2 \times k$  表の均一性の検定について

- 4) 大隅 昇 (統計数理研究所), 中村 永友 (日大・理工)

組み合わせ的階層分類法のパラメータ空間と距離のひずみの関連性

### 特別講演 I (11 : 20 ~ 12 : 30) 座長 河口 至商

岩坪 秀一 (大学入試センター)

数量化法の応用についての最近の話題

————— 昼 休 み —————

### 特別講演 II (13 : 30 ~ 14 : 40) 座長 正法地 孝雄

福富 和夫 (国立公衆衛生院)

エイズ患者数および HIV 感染者数の推計について

### 一般講演 II (14 : 50 ~ 16 : 30) 座長 丹後 俊郎

- 5) 橋本 修二, 福富 和夫 (国立公衆衛生院),

森尾 眞介 (神奈川県立がんセンター)

血液製剤による HIV 感染数の推計における潜伏期間を考慮したモデルの検討

- 6) 大瀧 慈, 金 東壘, 務中 昌己 (広島大・原医研)  
1950年以降の日本での主要死因別死亡率における  
年齢要因・カレンダータイム要因の交互作用について
- 7) 谷 春一, 後藤 昌司 (塩野義解析センター)  
標本サイズの決定に関するBayes流解釈
- 8) 吉村 功 (名大・工)  
期間投与量に変更のある臨床試験

**総 会** (16:30~17:00)

- 議 題 (1) 1987年度事業報告および決算案
- (2) 1988年度事業計画および予算案
- (3) 役員交替の報告
- (4) その他

閉会の挨拶

- 総会に欠席される方は、委任状をお送り下さい。
- 講演予稿集代は1000円の予定です。
- 4月22日(金)に同所で日本計量生物学会の年会が開催されます。

**<会 場 案 内>**

